

2019年11月1日

## 特発性間質性肺炎急性増悪における縦隔リンパ節腫

### 大の有無による予後の検討

京都第一赤十字病院呼吸器内科では、特発性間質性肺炎急性増悪における縦隔リンパ節腫大の有無による予後の検討を行う臨床研究を行っております。実施にあたり京都第一赤十字病院倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より 適切な研究であると承認されています。

#### 研究の目的

間質性肺炎において縦隔リンパ節腫大を認めた場合、予後不良であることを報告されています。長期予後について検討されていますが、急性増悪時の予後にどのように影響するか明らかではありません。リンパ節腫大の有無による急性増悪時の予後について後方視的に検討を行います。

#### 研究の方法

##### 対象となる方について

2015年1月1日からの3年間で特発性間質性肺炎急性増悪を発症した患者様を対象とします。短径10mm以上の縦隔リンパ節を認める症例を縦隔リンパ節腫大ありと判断し、縦隔リンパ節腫大の有無による急性増悪の予後の違いを後方視的に検討します。

研究期間： 倫理審査委員会承認後から2021年3月31日

##### 方法

CTで短径10mm以上の縦隔リンパ節を認める症例を縦隔リンパ節腫大ありと判断し、縦隔リンパ節腫大の有無による急性増悪の予後の違いを後方視的に検討します。

##### 研究に用いる試料・情報について

情報：病歴、カルテ番号、画像、等

##### 個人情報の取り扱いについて

研究のために当院で集めた情報は、この研究に使用する際はあなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、セキュリティのかかったインターネットに接続できないパソコンで管理します。このパソコンがある部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。この研究で得られた情報は個人情報管理者および個人情報分担管理

者の責任の下、厳重な管理を行います。

#### 情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、カルテから抽出した情報は学会・論文発表後 5 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し廃棄します。ただし、他の研究への応用の可能性について承諾をいただいた試料については引き続き厳重に保管され、新たな研究への再利用について、倫理審査委員会においてその可否が審査されます。

#### 研究組織

研究責任者、研究代表（統括）者：

京都第一赤十字病院 呼吸器内科学 部長 平岡 範也  
医長 辻 泰佑

#### お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年1月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都第一赤十字病院 呼吸器内科

職・氏名 医長 辻 泰佑 電話：075-561-1121